第4回意見交換会の開催報告

- 1.日時：令和2年7月20日 18時00分～19時10分
- 2.場所：名古屋市役所 12A会議室
- 3.団体名：相生山の自然を守る会、NPO法人あたたかい心・天白支部、
プロジェクト相生山
- 4.市出席者：緑政土木局企画経理課 岩本主幹（企画）、上杉主査（企画）
道路維持課 姫野主査（安全対策）
道路建設課 蒲野主査（事業調整）
緑地事業課 中村緑地計画係長
- 5.参加者：6名
- 6.当日の次第
 - (1) 開始のあいさつ
 - (2) 世界の「AIOIYAMA」プロジェクトに関する現状報告
 - (3) 入り込み交通対策について
 - (4) 弥富相生山線について
 - (5) 相生山緑地の基本計画の検討について
 - (6) 終了のあいさつ
- 7.主な質疑、意見等（○参加者、●名古屋市）

（世界の「AIOIYAMA」プロジェクトに関する現状報告）

○請願のそれぞれがなぜ採択・不採択なのか、主な理由は何か。

●委員会では、弥富相生山線は都市計画で決められたことであって、今も都市計画は廃止されておらず、廃止には地元の理解が必要という中、現在、理解が得られている状況ではない、などの議論があった。

●議会としては道路を造ってほしいので、請願第12号を採択したというのが委員会でやり取りをしているなかでの感覚。請願第9号は道路事業廃止とあり、議会の意思とは反対なので不採択となった。

○請願第9号は住民意向調査の結果を尊重し、とあるが、先ほどの理由なのか。

●委員会での請願審査では、住民意向調査についての議論はなかった。

○今までに名古屋市で都市計画を見直した事例はあるのか。

●変更や途中で止まった事例はある。

○委員は何名。賛否の数は。

- 市長が廃止表明したことは、どういう位置づけになるのか。
- 市長と議会が正反対のことを言っている。
- それはどういう意味を持つのか。市長イコール行政ということか。
- 指揮命令系統としてはあるが、議会の意思は重く、その間にいるというところ。議会の意思は重い一方で、市長の指示があればその方針に沿って仕事を進めなければいけないというのはある。
- 市長の言っているような方向では、名古屋市総合計画はまとめられなかったということか。
- 5年間の計画の中では、道路事業廃止を進めていくのは時期尚早であると判断されたもの。市長の意見と反することを書いたものではない。
- 請願第12号が採択されたことで、早期に開通させることが地元の理解を得られて、地元の願いであるということになるのか。廃止に向けて作業部会をやっていたが、名古屋市の方向とかが変わったということはあるのか。
- 方向転換ということではないが、議会の意思が示され、重く受け止めなければいけないと考えている。
- 重く受け止めたということは、具体的にはどういうことを指すのか。
- 道路事業を廃止できる根拠を示せておらず、合意が取れていない。
- 皆さんの合意を取るために、行政はどういうことをやってきたのか。
- この意見交換会で市の考えを示してきた。
- 道路廃止に向けた説明が足りていなかったところがあったため、今年度調査検討を行い、意見交換の中で説明し、ご意見を頂きたい。
- 市長とのパブコメをやりたい。
- 市長との対談の際には、世界のAIOIYAMAということで、みんなで話し合う場をもってもいいと思う。

(入り込み交通対策について)

- 双子池のところを毎日通るが、8～9割は入り込み。私は山のへりを走っているが、前後の車は中に入り込むが、結果として私の方が早い。へりのところを通りやすくしたら、中への入り込みは少なくなると思う。
- 山のへりの路線も交通量を減らしたいと思って対策をしている。
- 菅田のところなど、周辺の道を走りやすくしたらよくなるのではないか。
- 入り込み交通は、通学時間と重なると問題。7～9規制がかかっているが、無視し

て入ってくる。それを防げばずいぶん減るのでは。

- 規制になると警察になるので、それはしっかり。
- ゾーン30だけでなく、恒久的な一方通行にするとか考えられないのか。
- 地域に暮らしている方々も不便になることもあるので、話し合いの中で模索していく話かと思う。
- 弥富相生山線を通せば入り込み交通対策になるのか。
- 直結する問題だと思っていない。
- 通せば入り込みは少なくなるという人がいるが、そうではないと説明してほしい。
- 久方の交差点で南進右折がなかなかできない。
- 入り込みは昔から地元ではそんなに問題とはなっていなかった。道路を通したいがための理屈で持ってきたように思っている。目先をごまかしているんじゃないかと思ってしまう。

(弥富相生山線について)

- スケジュールはどうなっているのか。
- 環境調査のうち飛翔調査は既に実施し、その他の調査は今後入っていききたい。
- 具体的な報告書が出たら、私たちも一緒になって考えていききたい。
- 渋滞の定義は持っているのか。
- 平成28年度に交通調査を実施した。野並と島田交差点エリアで渋滞が発生しており、交差点を通過するのに5分以上かかっているのを改善したい。野並については左折で詰まっているので車線を追加、島田は直進車線の交通を流せるように対策を考えている。
- 野並・島田の調査しか行っていないのではないかと。渋滞は国道302号から配水塔の所までつながっている。ほら貝1のY字交差点へ鳴子みどりが丘方面から流入できない。広域的に考え、周辺道路の渋滞も考慮して調査してほしい。国道302号の開通で状況が一変した。神沢地区の入り込み交通も多く、人身事故が起きている。
- 平成28年度に相生山を囲うような広い範囲で調査しており、把握している。
- 神沢一丁目から桃山交番のあたりもとても危ない、そちらのほうまで考慮してほしい。
- 調査をするには仮説を立てているはず。対策をすることによって、どのような変化が起こり、渋滞が解消されると考えているのか教えてほしい。R3に交差点改良を実施とあるが、それから調査を行い、その結果により道路廃止の理由ということも

言っていて、そのあたりのスケジュールも教えてほしい。また環境調査とあり、道路周辺とあるが、これは弥富相生山線を指しているのか。

●元の道路予定地付近を指している。

○従来から調査しているが、補足としてやるということか。今回調査で設定された内容を教えてほしい。

(相生山緑地の基本計画の検討について)

○検討会のスケジュールは。

●意見交換会で意思表示をし、その後、参加意向を聞いていく予定。検討会の全体の人数を考えると、各団体の人数も絞る必要があると考えている。検討会では意見交換をしながら緑地のあり方を検討し合意形成を図り、最終的には緑地計画を作りたいと考えている。

○これまでの意見交換は一方通行であった。議論できる場所を整えてほしい。

●進行と合意形成の役割は第3者に業務委託したい。

○検討会の検討対象をなぜ緑地計画だけに絞るのか。道路と緑地はセットで考えるべき。

●切り分けて考えたい。緑地のあり方として目標とする植生など、意見交換している団体毎に相違がある。しっかりとそのあたりから考えたい。

○道路と緑地を切り分けて考えると決めている時点で、行政の意図が入っており納得できない。道路と緑地は切っても切れない問題があるのでは。

○緑地のあり方をしっかり考えないと、道路のことを判断できないのではないか。

○緑を未来に残すという、緑化地域制度の趣旨に沿って考えてほしい。名古屋市は民間に緑化を義務付けている。自然を大事にすべきである。道路は廃止すべき。園路という名の工作物である道路もよろしくない。せめて今できている道路は駐車場にするなど、工作物は極力作らない方向で。意見交換の場に業者が進行役で入るのは賛成。